

2020 シマアオジ 報告会

繁殖状況と
普及啓発の取り組み

定員：20名

下記のお問い合わせ先まで事前にお申込ください

※参加者多数の場合には、定住支援センター

(定員32名)に会場変更の可能性があります。

当日はマスク着用の上ご参加ください。体調が悪い方は参加をご遠慮ください。

令和2年11月28日(土)

13:30~14:30

サロベツ湿原センター

北海道天塩郡豊富町上サロベツ8662番地

報告

「シマアオジの繁殖状況と普及啓発活動の取り組み」

・長谷部真(サロベツ・エコ・ネットワーク)

座談会

「サロベツのシンプル、シマアオジを目指して」

・柴原崇(国立公園保護管理企画官)・長谷部真

シマアオジはお腹の黄色が目立つ小鳥の仲間で、サロベツには夏にやってきます。

かつては北海道全域の草原で繁殖していましたが、今では日本でサロベツでごく少数が残っているだけです。

渡りの中継地である中国における捕獲が減少の主な原因と言われています。

サロベツのシンプルを目指して

主催：環境省北海道地方環境事務所 協力：日本野鳥の会道北支部

お問合せ先：サロベツ・エコ・ネットワーク

☎ 0162-82-3950 ✉ hasebe@sarobetsu.or.jp (担当：長谷部)

